

平成31年度 「情報ツールの使い方」について

みなさんの周りには多くの情報ツールが溢れています。利用することで様々な情報を得ることができ、様々な人々とコミュニケーションをとることもできる便利なものです。

しかし、「ルールやマナーを守って利用すること」ができないと、トラブルの原因になるだけでなく場合によっては処罰の対象になるものです。

高校生として、責任を持って利用することができるか確認しましょう。

【ルールの確認】

- 電話番号・メールアドレス・IDをむやみに教えない。
- SNSに悪口は絶対に書かない。
- SNSに個人情報や写真は絶対に載せない。
- 必要のないサイトにアクセスしない。
- 知らない相手からのメッセージには返信しない。

【スマホやインターネット利用のマナーを守れているかの確認】

①利用のルールを家庭で決めているか。

→ 高校生は保護者の管理のもとで使用するものです。利用方法や利用時間は家庭で決めて使用するべきです。1日中やってばかりいませんか。とくに休暇中やテスト前の利用方法はルールを決めましょう。生活面や健康面にも注意しましょう。

②ながらスマホをしていないか。

→ 歩行中や自転車に乗っているときに利用することは危険です。
実際に高校生が自転車で交通事故を起こし、多額の賠償金支払いを課せられることが増えています。

③公共の場での利用方法は守れているか。

→ 電車内や店内など、人の多い場所での通話は周囲の迷惑になります。周囲から注意されるなどお互いに不愉快な思いをすることになり、トラブルに発展することもあります。

④対面でのコミュニケーションはとれているか。

→ 人と話していたり、友人や家族でいるときにスマホを操作してばかりいることは、相手に対して不快な思いをさせることがあります。
何よりも、今後社会に出たときに、常識のない行動として誤解されてしまう可能性があります。

◎これらのルールを破ることは、友人関係を壊したり、生活指導の対象になるなど、学校生活に支障が出る可能性があるだけでなく、「犯罪行為」として社会的制裁を受ける場合があります。

社会人の逮捕も後を絶ちません。

高校生も加害者として起訴・逮捕されたり、民事訴訟で訴えられるケースが全国で相次いでいます。

また、卒業後の社会に出た後は、成人と同じように罰せられる可能性があります。

自分には関係ないと思っている人ほど危険です。

この機会に自分の使い方は間違っていないか、真剣に考えてください。